

会 議 録

令和6年5月31日作成

会議名	令和 6 年度第1回木更津市商工業振興計画推進委員会		
開催日	令和6年5月30日(木)	場所	木更津市役所駅前 8階防災室・会議室
時 間	午後2時00 分から午後3時20分まで		
出席者	委員 内田慎一郎 石出忠輝 曾我井祐明 國吉俊夫 内山雅弘 平柳利一 櫻井亜耶 石田亨 森田博幸 市側 大岩房之 磯部光治 榎本武洋 島村領一 地引克		
議 題	(1)第2次木更津市商工業振興計画アクションプラン(案)について		
公開・非 公開の別	公 開	非公開理由	—
傍聴人	0人		
概 要	下記のとおり		

(概要)

○事務局(磯部課長)

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。事務局を務めます経済部産業振興課磯部でございます。まず始めに配布資料の確認をお願いいたします。

次第、委員名簿、座席表、第2次木更津市商工業振興計画アクションプラン(案)を配布させていただきますいておりますが、資料の不足はございませんでしょうか。

それでは会議に入る前に、事務局から2点ご連絡いたします。

1点目、本会議につきましては、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第 3 条に基づき、公開することとなっております。また、本日の傍聴人はおりません。

2点目、会議録作成のため会議内容を録音させていただきますので、予めご了承ください。なお、ご発言の際はお手元のマイクのボタンを押し、発言後はもう一度ボタンを押してマイクをオフにいただきますようお願いいたします。

それでは只今より、令和6年度第1回木更津市商工業振興計画推進委員会を始めます。

はじめに、木更津市富来田商工会の役員の改選により委員1名が交代されておりますので、ご紹介させていただきます。木更津市富来田商工会 会長の曾我井 祐明様でございます。

○曾我井委員

木更津市富来田商工会の曾我井と申します。よろしくお願いします。

○事務局(磯部課長)

曾我井様、よろしくお願いいたします。委嘱状につきましては、お席に置かせていただきましたのでよろしくお願いいたします。

それでは内田委員長よりごあいさつをいただきたいと思います。内田委員長よろしくお願いします。

○内田委員長

皆さんこんにちは。ご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

思い起こせば今年の会議のとき、確か台風があって、皆様方のお足が乱れたと記憶しております。本日も、もしかして台風が来るんじゃないかということで、非常に心配したんですけれども、本当にいい天気になりまして、このように皆様方お集まりいただきまして本当にありがとうございました。

ただいま事務局の方からご紹介いただきました、委員長を仰せつかっております木更津商工会議所の内田でございます。

曾我井様におかれましては、佐久間様の後任ということで、この輪に加わっていただきまして本当にありがとうございます。ぜひ忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

さて皆様方のご協力を得まして、3 回の委員会の中で策定できたものがございました。それをもちまして、本日は皆様方に事前にお配りしてあるかと思います、第二次木更津市商工業振興アクションプラン、実際に行動に移すにあたってこういったものを策定する必要があります。本日皆様方のご意見、あるいはご質問等を賜りながら、本日はこのアクションプランを確定したいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局(島村係長)

内田委員長、ありがとうございました。それでは早速議事に入りたいと思います。本委員会の議事進行は附属機関設置条例第 6 条により、委員長が務めることになっておりますので、内田委員長、これからの議事進行よろしくお願いします。

○内田委員長

それでは、議長を務めさせていただきます。ここからは着席にて失礼いたします。先ほど

挨拶の中でも申し上げましたように、皆さん方から忌憚のないご意見をいただければと思います。円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いします。まず、本日の出席委員数は、9名でございます。よって、附属機関設置条例第6条第2項の規定により、過半数の出席をいただいておりますので本委員会は成立いたします。

それでは、議題1 第2次木更津市商工業振興計画アクションプラン(案)について を議題に供します。事務局から説明をお願いします。

○事務局(地引)

事務局を務めます、産業振興課の地引と申します。配布資料の第二次木更津市商工業振興計画アクションプラン案をご覧ください。大変恐縮ですが、着座にて説明させていただきます。

配布資料アクションプラン案を開いて1ページ目をご覧ください。

アクションプランにつきましては、令和6年3月に策定いたしました第2次木更津市商工業振興計画に基づいて作成し、毎年度更新を行いながら取組の進行管理を行います。

2ページ目が施策体系の一覧になります。

3ページ目以降が25項目ある取組の詳細になります。上から基本方針、施策、取組名、内容、担当課、指標、指標の実績・目標値、令和6年度の主な取組となっております。

取り組み内容より上の項目は計画と同内容となっておりますので、主な取組・事業についてご説明いたします。

それでは、3ページ目、伴走型支援の充実をご覧ください。

らづ-Biz による相談支援、木更津市産業・創業支援センターらづ-Biz において、起業したい方、新規事業を立ち上げたい方などを対象に、ビジネスモデルづくりや売上拡大等の相談支援を行います。らづ Biz は中小企業支援家の小出宗明氏のビズモデルを実践する施設で、市が木更津商工会議所に管理運営の委託をしております。

商工会議所・商工会の中小企業相談所による相談支援、木更津商工会議所及び木更津市富来田商工会の創業・開業に関する金融・経理・労務・取引などの相談支援を行う中小企業相談所を支援します。

中小企業資金融資、開業・育成資金の実施、木更津市中小企業資金融資制度において、開業・育成枠を設置し、創業・開業をめざす方向けに融資支援を行います。また、利用者の金利負担を軽減するため、毎年度末に2%を上限に利子の補給を行います。

かずさインキュベーションセンターの活用周知、かずさインキュベーションセンターの周知

を行うとともに、入居企業の後押しとなるよう、様々な支援制度の情報提供や他企業、研究機関・大学等との情報交換の場を提供し、新産業の創出を支援します。

5ページ目、起業家コミュニティの育成をご覧ください。

木更津創業塾の開催、新たに創業・開業を考えている方を対象に、経営に関する基礎的なことを短期間で学べる場として、木更津創業塾を上半期と下半期の年2回実施します。なお、今年度から、参加者の事業計画をより強固なものとするために、1期の期間を4週間から、3～4か月に設定し、リニューアルを行います。

優良事業のPR推進、らぶ-Biz相談者の優良事例を広く発信し、他事業者に対する啓発や横展開を図るとともに、木更津商工会議所と連携し、経営革新・環境改善に関する取組や地域貢献活動を行う企業を表彰する優良事業者表彰式を開催し、事業者のイメージアップやモチベーションの向上に繋げていきます。

6ページ目、経営改革・DX支援をご覧ください。

まず、こちらの指標についてですが、年5%の増加を目標としておりましたが、令和5年度の実績値が70%となったため、令和10年度の目標値であった75%以上を毎年度の目標に見直しさせていただいております。それでは取り組み内容の説明をいたします。

木更津市経営革新計画承認事業者奨励金の交付、経営革新計画を承認された事業者に奨励金5万円を交付し、中小企業者の経営向上に資する新規事業等を支援します。

中小企業デジタル化相談支援、中小企業のデジタル化の推進に向け、ホームページ・SNS等の作成活用アドバイスを行うIT・WEBマーケティング専門家と、写真の撮影方法・動画の撮影ノウハウなどを行うビジュアルサポート専門家をらぶ-Bizに配置し、中小企業のデジタル化相談支援を実施します。なお、IT・WEBマーケティング相談は月曜日と木曜日、ビジュアルサポート相談は金曜日に行っています。

7ページ目、事業者向けDX推進支援セミナーの実施、中小企業のDX推進に向け、DXに関する基礎知識の取得及び理解度向上等を目的としたDX民間セミナーを開催します。

8ページ目、設備投資の促進支援をご覧ください。

先端設備導入計画の認定、中小企業等経営強化法に基づき、中小企業の提出する先端設備等導入計画の認定を行い、該当する設備等の固定資産税の課税標準が3年間2分の1に軽減される措置を行います。また、従業員に対する賃上げ方針の表明を計画内に記載した場合は最大で5年間3分の1に軽減されます。

9ページ目、マッチング機能の強化をご覧ください。

かずさ4市の事業者交流会の開催、かずさアカデミアパーク経済対策協議会等の関係機関と連携し、かずさ4市の事業者交流会を開催します。

創業者・事業承継者交流会の開催、木更津商工会議所と連携し、創業者や市内事業者などを対象とした事業者交流会を開催し、事業者同士の交流・発表の場を作り、経営力の向上のほか、事業者間連携の促進や販路拡大等に繋がります。

10ページ目、国内海外ビジネス展開の支援をご覧ください。

ふるさと納税の拡充、ポータルサイトの拡充等を通し、プロモーションの強化を図ることで、市内事業者の販路拡大や売上向上に繋がります。

木更津 Quality の確立、本市が誇る高品質で魅力ある地域の資源を木更津 Quality として選定し、地場の商品・製品等のPRを行うことで、市全体のブランド力の向上を図ります。

海外ビジネス展開の取組支援、木更津商工会議所と連携し、海外展開を希望する事業者向けのセミナーを開催し、ビジネス拡大の後押しをします。また、7月に友好都市であるベトナムダナン市に赴き、展示会への出展や旅行会社への営業等を行い、観光客の増加やビジネスの拡大に繋がります。

11ページ目、企業誘致の推進をご覧ください。

木更津市産業立地促進条例に基づく助成制度の活用、企業訪問や情報発信などにより本市の企業立地の優位性をPRするとともに、立地奨励金制度等を活用した企業誘致の推進に取り組みます。木更津市産業立地促進条例により、要件を満たした指定事業者に対し、前年度に納付した固定資産税収納額相当額を3年間、かずさアカデミアパークの地区内の場合は5年間交付します。令和6年度は継続が4社、新規1社の計5社に対して奨励金の交付を予定しております。

木更津市産業用地整備支援事業、民間事業者より産業用地整備の企画提案を公募し、本市がインフラ整備に係る費用を「建設補助金」として支援することで、民間企業は基礎インフラ整備を含む団地造成・分譲・企業誘致を行い、総事業費の抑制及び迅速な用地確保の実現を図ります。

12ページ目、オーガニックライフスタイル産業の拡大をご覧ください。

オーガニックライフスタイル産業の拡大、オーガニックなまちづくりを楽しみながら学ぶことができる「木更津オーガニックシティフェスティバル2024」の開催やオーガニック産業に焦点を当てた「国際フォーラム」を開催する見込です。また、10月に開催される日本最大

級のオーガニックイベントであるオーガニックライフスタイル EXPO に出展し、対外的に本市のオーガニック産業の PR 支援を行います。

食や農業の PR、「環境にやさしい農業」を進めるため、千葉県独自の農産物認証制度である「ちばエコ農産物」の認証件数増加を目指して関係機関と連携を図ります。また、「木更津オーガニックシティフェスティバル 2024」においてオーガニック食材や地元食材に親しむ機会を提供します。

13ページ目、地域資源を活かした観光振興をご覧ください。

サイクルツーリズムの推進、自転車を活用した市内周遊イベント、サイクルボールや内房里山・里海サイクリングの開催や「ツール・ド・ちば」開催の支援等を行います。

木更津版 DMO の推進、木更津版 DMO と連携し、戦略的なマーケティングに基づいた観光プロモーションや観光ツアー造成に取り組むと同時に、里山・里海をはじめとする観光資源を活用した体験プログラムを展開します。

観光デジタルガイドマップ「木更津おでかけナビ」の運用、本市の地域資源を活用したイベント情報や、観光施設、飲食店の情報などをスマートフォンなどから閲覧できる「木更津おでかけナビ」を運用し、タイムリーな情報発信を行い本市の魅力をPRします。「木更津おでかけナビ」に、現在地から観光施設等へのルート案内ができる機能も備え、市内への回遊につなげます。

14ページ目、経営支援の充実をご覧ください。

らぶ-Biz による経営相談支援、事業者の事業成長に向け、ブランディングや認知アップ、マーケティング強化など、経営相談等による伴走支援を行います。

商工会議所・商工会の中小企業相談所による相談支援、木更津商工会議所及び木更津市富来田商工会の創業・開業に関する金融・経理・労務・取引などの相談支援を行う中小企業相談所を支援します。

中小企業資金融資（一般事業資金）の実施、木更津市中小企業資金融資制度により、事業運営の安定等を図るため融資支援を行います。また、金利負担を軽減するため、利子補給を行います。

事業者向け物価高騰対策支援金の給付、電気料金およびガス料金の高騰の影響を受けた事業者に対し、事業継続及び経営安定を図るとともに、将来的なコスト低減に繋がる取組を支援するため、令和5年の光熱費の合計の10%で、2万円から20万円の支援金を給付します。

15ページ目、事業承継の促進をご覧ください。

事業承継の支援、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと木更津商工会議所の共催で、毎月第1火曜日に開かれる「事業承継出張相談会」や事業承継支援ネットワークちばによるセミナーを市ホームページ等により周知し、積極的な活用を促進します。

16ページ目、リスクマネジメントの推進をご覧ください。

事業継続計画の策定支援、国や県が実施する事業継続計画策定に関する情報の周知を行うとともに、庁内関係課や木更津商工会議所と連携し、ハザードマップや災害対策、計画策定の必要性や支援情報等について学ぶことができるセミナーを7月に開催します。

17ページ目、オーガニックなまちづくりの推進をご覧ください。

オーガニックなまちづくりの推進、オーガニックなまちづくりを実践するオーガニックアクション宣言企業・パートナーズの会員を増加させ、持続可能なまちの構築に向けた取組を加速化させることで、SDGs の達成に貢献します。

ローカル SDGs の推進、「きさらづ地域循環共生圏」の創造に向けた推進組織を立ち上げ、域内外の多様な主体との議論を深めるとともに、環境・社会・経済の三側面における統合的向上に向けた「ローカル SDGs 事業」の創出に向けて取り組みます。

18ページ目、脱炭素化の推進をご覧ください。

市内企業への脱炭素化支援、脱炭素化ガイドブックや補助金情報の周知など、国・県等の実施する事業者向けの脱炭素化促進事業に関する情報の周知を市ホームページ等で行います。

脱炭素経営に向けた啓発、オーガニックシティフェスティバル等のイベントやセミナーの開催、出前授業、情報発信の実施等を通じて、各企業の経営者や従業員等に対する啓発を行います。

事業者向け物価高騰対策支援金加算分の給付、脱炭素化や将来的なコスト低減に繋がる取組を支援するため、本支援金の上乗せ措置として、事業用に 10 万位円以上の省エネ機器を購入した事業者に対し、5 万円の追加給付を行います。

19ページ目、商業環境の整備をご覧ください。

商業団体等の電灯料への補助支援、豊かさや快適さを実感できる街並としての商店街づくりを推進するため、商店街振興会等の商業団体が管理する街路灯に対し、年間電灯料の2分の一以内を予算の範囲内で補助します。

商業団体等事業、施設整備への補助支援、商業団体等が行う防犯カメラの設置や街路灯

の新設などの施設整備費を商業団体等振興事業補助金により支援します。

移動スーパーとの連携、買い物に困難を感じている高齢者等の支援に向け、民間企業等が実施する移動スーパー事業に対し、PR 支援を行います。なお、現在は株式会社カスミと、株式会社千葉薬品のヤックスによる移動スーパーが運行しています。

20ページ目、まちづくり連携による商店街の振興をご覧ください。

商業団体等の運営支援、商工業振興のための共同事業の運営に要する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付します。

商業団体等が行うイベントの支援、かずさ YOSAKOI 木更津舞尊をはじめとした地域に密着した商業団体等の主催イベントを支援します。

木更津こどもまつりの開催支援、11月16日に木更津駅西口商店街歩道・公園を会場に、子育て中の親子と地域の人々との交流の場を創設することにより、子育て支援の充実と町おこしを図ります。

21ページ目、空き店舗の活用促進をご覧ください。

空き店舗活用支援事業の実施、木更津市空き店舗情報登録制度に登録された中心市街地の空き店舗を活用して、創業する方に対し、改装工事費の2分の1、最大100万円を補助します。また、空き店舗活用の促進に向け、庁内関係課と連携した支援を実施します。

22ページ目、みなとまち木更津のにぎわい創出をご覧ください。

中心市街地の活性化推進、国からの重点的な支援を受けるため、「木更津市中心市街地活性化基本計画」の第2期を策定し、年度内での内閣総理大臣認定を目指します。また、中心市街地のまちづくりの牽引役となる中心市街地整備推進機構に指定した法人、一般社団法人まちづくり木更津に対し補助金を交付し、中心市街地の活性化に向けた取組を推進します。

景観形成重点地区における良好な景観づくりの支援、富士見通り沿道の木更津駅みなと口景観形成重点地区において、市民等が行う良好な景観形成に資する建築物の建築等に対し、最大120万円を補助支援することで、市の玄関口として相応しい、魅力的な街なみの形成を推進します。

富士見通りアーケード撤去の実施、パークバイプロジェクトの推進による「富士見通り再整備」において、老朽化が進み、富士見通りの良好な景観を阻害しているアーケードを撤去し、快適な歩行空間を形成します。

23ページ目、電子地域通貨「アクアコイン」の普及促進をご覧ください。

アクアコインの普及促進、域内消費の拡大に向けたポイント還元キャンペーン等の実施やアクアコインの認知度向上に向けたイベント・PR等を実施し、地域経済の活性化を図ります。また、加盟店の増加を図るとともに、加盟店同士のアクアコイン取引の拡大を図り、経済循環の促進を行います。

24ページ目、多様な人材の活躍推進をご覧ください。

就職支援セミナーの実施、シニア世代や女性の活躍に向け、千葉県ジョブサポートセンター及びかずさ3市と連携して、就職支援セミナーを実施します。8月に中高年向け、12月に女性向けのセミナーを予定しております。

求職活動相談会の実施、ジョブカフェちば及びちば南部地域若者サポートステーションと連携して、若者向けの就職活動相談会を実施します。

25ページ目、子育て期の女性就労支援講座の実施、子育てをしながら働きたいと考えている方や、仕事に役立つスキルアップをしたいと考えている方を対象に、初心者向けパソコン講座を実施します。あわせてハローワーク木更津による就職活動セミナーや、地元企業による仕事説明会も実施します。

外国人材の受入支援、木更津商工会議所と連携し、ベトナム社会主義共和国ダナン市の大学と人材交流に関する覚書を締結し、本市で技術を学び就労を希望する学生や卒業生を支援します。

26ページ目、地域人材の確保をご覧ください。

合同就職説明会の実施、地域人材の地元就職率を高めるとともに、人手不足の影響を受ける地元企業の支援に繋げるため、ハローワーク木更津や教育機関と連携して、合同就職説明会を10月と2月の年2回実施します。

キャリア教育の推進、市内小・中学校30校において、就業密着観察学習及び職場体験による体験的な学習を通して、児童生徒が職業の多様性や自己の適性に気づき、将来の進路選択に役立てることのできる学習活動を進めていきます。

27ページ目、移住・定住の推進をご覧ください。

移住検討者への LINE 等での相談対応、移住・定住を促進するため、コミュニケーションアプリ「LINE」を活用し、木更津市への移住に関しての相談を行います。

移住・定住の PR、移住検討者向けに木更津の魅力を伝えるためのパンフレットを秋頃に作成するとともに、冬頃に PR 動画を作成し、イベント等を通じて発信します。また、効果的な情報発信等を行うため、令和5年度転入者へアンケート調査を行い、発信する木更津の

魅力及びターゲット層の絞り込みに努めます。

28ページ目、職業訓練・能力開発の促進をご覧ください。

各種職業訓練・能力開発事業の周知、職業訓練および能力開発を促進するため、君津郡市共同高等職業訓練校やポリテクセンター君津などに関する情報を市ホームページや広報等により広く周知します。また、君津郡市職業訓練協会に負担金を支出し、優秀な技能者の輩出と育成を図ります。

国や県等の取組の周知、デジタル分野の社員教育等に活用できる厚生労働省の人材開発支援助成金等の取組について市ホームページ、広報等を用いて活用周知を行います。

29ページ目、多様・柔軟な働き方の普及促進をご覧ください。

多様・柔軟な働き方の普及促進、育児や介護の両立など、働きながらも私生活を充実させられるような職場・社会環境づくりに向けて、多様・柔軟な働き方を実践する企業の認定制度を10月までに創設し、認定企業の募集を開始します。認定企業の取組を広くPRすることで、市内企業の働き方改革に対する気運醸成や取組の横展開等を図ります。

公的支援制度の活用周知、市内企業に勤める方々に対し、国、県、市等の子育て・介護支援制度等の周知を行い、活用促進を図ります。

30ページ目、福利厚生制度の充実をご覧ください。

勤労者退職金等共済掛金に対する助成、中小企業退職金共済制度又は特定退職金共済制度に加入する中小企業者に対して、中小企業の従業員の福祉向上及び雇用の安定を図るため、1人につき1年間支払った掛金の額の10%、9,600円を上限に助成します。

適正な賃上げ等の推進周知、国や県等が行う従業員の賃上げに関する取組等について市ホームページ、広報等を通じて周知・啓発を行います。

説明は以上となります。どうぞ、よろしくお願いします。

○内田委員長

説明ありがとうございました。それではこのアクションプランについて、皆様方のご意見、あるいはご質問等を賜りたいと思います。いかがでしょうか。國吉委員お願いします。

○國吉委員

3点お伺いします。まず11ページ目の一番下木更津市産業用地整備支援事業、ここに建設補助金とあるが、どの程度の補助をお考えでしょうか。

○事務局(榎本課長補佐)

産業振興課榎本です。よろしくお願いします。

金額として 10 億円を最大としています。対象となるのが、インフラの部分、道路、上下水道、こちらにかかった費用で上限 10 億円ということになっています。そのため、9 億円しかかからなかったということであれば 9 億円、11 億円かかったということであれば上限 10 億円になります。10 億円の範囲内で、うち 5 億円が県補助金を当てて、市が 5 億円という形になっております。以上です。よろしくお願いします。

○國吉委員

9 億円の場合だったら、一切負担はなしということではよろしいでしょうか。

○事務局(榎本課長補佐)

はい。そもそも公共インフラの部分ですので、本来であれば、市が整備すべき部分という考え方に基づいております。

○國吉委員

2点目、22 ページ、まちづくりと連携した経済活性化の一番下に、富士見通りアーケード撤去の実施とありますが、これは今掘り起こしみたいなことをやっていますが、アーケードの撤去が、いつからいつまでの計画でお考えでしょうか。

○事務局(島村係長)

富士見通りアーケードの撤去のスケジュールになりますが、工事が 10 月頃から始まり、年明けて 3 月頃までに完了するという工期で考えております。

○國吉委員

わかりました。ありがとうございます。できれば速やかに、今年度やっていただければありがたいと思います。

3点目、21 ページ、まちづくりと連携した経済活性化の一番下、担当部局が違いますが、中心市街地の区域はどこかで指定されていると思います。通常、店舗は道路の両サイドにあります。図面を見ると道路で区切っています。道路から 20 メートルとか 50 メートルまでのエリアとすべきだと私は考えますが、どのようにお考えでしょうか。

○事務局(島村係長)

空き店舗補助金の区域は、中心市街地活性化基本計画で定められた範囲で定めています。ただし、この空き店舗補助金につきましては、おっしゃるとおり、柔軟な対応が必要になってくると思います。今後、空き店舗補助金の区域については、今後本課の方で検討させていただければと思っております。

○國吉委員

よろしくお願いします。空き店舗が増えている中、道路の手前まで行って道路向こう側が対象外というのは、空き店舗が埋まらない要因になると思います。ご検討をお願いします。

○内田委員長

ありがとうございます。ご検討、よろしくお願いいたします。そのほかにいかがでしょうか。森田委員をお願いします。

○森田委員

ハローワーク木更津の森田です。3 ページに記載の伴走型支援の充実の件で 1 点質問をさせていただきます。年度末の目標について、令和 6 年度末 167 件、令和 5 年度末からプラス 8 件の増加ということで、目標が設定されており、上の指標を見ていただくと、年間 20 件以上の増加となっております。こちらの目標に対する達成についてですが、指標の年間 20 件の増加で目標達成となるのか、あくまでも当初計画した令和 6 年度 167 件、こちらの数字に達すれば目標達成となるのか、その認識について、事務局の方にお聞きしたいと思います。また、この年度末の目標についてなんですが、他の取り組み、施策もですが、件数とか、パーセントで目標設定してる施策について、比較的成果について判断しやすいのではないかなと思われそうですが、目標が実施となってる取り組みが幾つかあります。そちらについてはその施策でどのくらいの効果があったか、判断、評価が難しいのではないのかと感じております。各施策において、複数の取り組みが計画されてるかと思いますので、例えば、それぞれ個々の取り組みにおける、目安、目標値をできる限り補助指標として設定していただくと、事業効果が判断しやすいのではないかと感じています。ただ、第2次計画の初年度ということで、具体的な目標設定が難しいものの中にはあるかと思いますので、ぜひ次年度のアクションプランでは今年度の実績を踏まえた上で、各取り組みについての、目安の目標値を設定いただいて、より事業効果が判断しやすい形に、作成を検討していただきたいと思います。私からは以上でございます。

○内田委員長

ではこのことについて事務局からお願いします。

○事務局(島村係長)

まず、3 ページの創業開業支援件数の累計ですが、こちらについては大変申し訳ございません。年間 20 件以上はベースにしたいと思ってますので、令和 6 年度は 179 件、令和 7 年度は 199 件というように、20 件ずつ増加するような形で修正をさせていただきます。もう 1 点、目標に実施と書かれたものについては、今年度まず取り組みをやらせていた

だいてその成果というものを、来年度のこの会議のときに示させていただき、プランとして補足的に数値化できるものはしていきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いします。

○内田委員長

それでは数値について訂正をよろしくお願いします。その他いかがでしょうか。石田委員お願いします。

○石田委員

石田です。13 ページ目ですが、サイクルツーリズムの推進ということで、観光のお客様を木更津に増加させて、木更津にお金を置いて、たくさん使ってもらいたいと思います。そのサイクルツーリズムについて、サイクルロードの充実というのはされてるんでしょうか。お出かけナビについても、現在地から観光施設等へのルート案内ということで、車のルート案内はあると思いますが、自転車のルート案内についても充実させるということをしないと、片手落ちの感じがします。その辺り予算がそれだけ使われるかどうかはわかりませんが、どうお考えでしょうか。

○内田委員長

それではこの件について事務局よろしいですか。

○事務局(島村係長)

まずサイクルロードの充実ですが、県道の方は県で、市の方は土木課の方で、整備のところについては進めており、今年度の予算的なものとか、現状把握しておりませんが、おっしゃる通り、ハード面ソフト面それぞれ揃って進めていかないとこの取り組みは進んでいかないと考えます。また、ナビゲーションのアプリは、自転車の方々の視点も含めるように観光振興課等と協議していきたいと思っております。よろしくお願いします。

○内田委員長

石田委員よろしいですか。その他いかがでしょうか。内山委員お願いします。

○内山委員

千葉銀行内山でございます。全体的なところでお伺いします。5年間の商工業振興計画がスタートということになるわけですが、この 25 項目、これをしっかり進捗を確認していくのは、1 ページにあるように我々委員のところで確認をするということになると思います。ただ実際は、この担当課がそれぞれ市の中で決まっているということである以上、市の中で旗振りがいて、横串を入れていくところっていうのは、必要だと思います。民間企業で

あれば、こういう大きな計画があって、それぞれのプランが決まって、進捗していく中で、全体を見て今の状況がどうか、他が遅れてるんであればそこはもっとしっかりやるという、指示を出すところが必要だと思ってます。そう考えると、産業振興課が、そこをやっていくことになると思いますので、そのところを記載している部分がないもので、その決意表明をいただきたいなと思っております。

○事務局(島村係長)

アクションプランに推進の役割や主たるリーダーなどの記載が無く大変申し訳ありませんでした。そちらについては、このアクションプランの 1 ページ、2 ページ目の間あたり、このアクションプランの推進体制について、中心となるのは産業振興課となりますので、そういった旨の記載をさせていただいて、決意表明する形で進めてさせていただければと思います。よろしくお願いします。

○内田委員長

ありがとうございます。我々は常に見てるわけではないので、市の方でぜひチェックしていただいてよろしく願いいたします。その他、いかがでしょうか。平柳委員お願いします。

○平柳委員

何点かお伺いします。まず 5 ページ目、木更津創業塾が年 2 回開催ということで、いい取り組みだと思います。関連予算もそれなりですが、参加者の負担っていうのは、こういった形になっていますか。

○内田委員長

それではこの点でお願いします。

○事務局(島村係長)

創業塾の参加費等は特にかからず、無料でやっております。

○平柳委員

わかりました。君津だと参加費が 5,000 円と聞いていたので、なるべく多くの方が参加できる仕組みで良いかと思います。10 ページ目について、主な取り組みで木更津 Quality の確立とありますが、その記載内容について、例えばその下の海外ビジネス展開の取組支援については具体的に書かれています。実際どういうふうにして、物事をやっていくのか、ここに限らず散見されるので、手法まで含めた方が良いのではないかと感じています。

○内田委員長

事務局お願いします。

○事務局(島村係長)

アクションプランの方で、具体的な記述がないところに関しましては、今一度、一通り確認させていただき、記述を追加したいと思います。

○平柳委員

はい、ちょっと難しい部分もあると思いますが、あまりあやふやだとスタートが遅れてしまう気がします。あと最後になりますが、主体が違うということかもしれませんが、24 ページと 26 ページを拝見していると、24 ページはハローワーク木更津さんとかと連携によりということで就職支援セミナーの実施、求職活動相談会の実施とあります。こちらの指標が、支援を受けて就業した者の割合ということが、非常にアグレッシブな目標となっています。それに対して、次の 26 ページの場合だと、合同就職説明会ですが、こちらは参加者数となっていて、この辺りの目標、設定の違いについて教えていただきたいと思います。

○内田委員長

事務局よろしいでしょうか。

○事務局(島村係長)

それぞれ施策の目的に沿って指標は決めております。なお、取組自体は重複しており、支援して就業した割合の根拠は、子育て期の女性就労支援講座と合同就職説明会に参加した方のうち、実際に就業できた方の割合とすることになっておりますので、追記させていただきたいと思います。

○平柳委員

わかりました。ありがとうございます。

○内田委員長

他いらっしゃいますでしょうか。曾我井委員お願いいたします。

○曾我井委員

11 ページの企業の誘致に伴う助成制度について、本市の企業立地の優位性をPRするとともに、と、記載があります。大企業を誘致する目的なのかそれとも中小企業でもいいよ、というような気持ちもあるのか、まずはその企業誘致するための場所について、木更津市にどのくらいの規模の誘致する立地条件を伴う場所があるのか、場所と面積を教えてください。我々のような中小企業がどこかに工場を作りたい、倉庫を作りたいって言ったときには私自身が 3 年前に経験があるんですが、ほぼほぼ木更津市は市街化調整区域と

農振地域で網がかかっているような場所でした。ほとんど、何にも建てられない場所だったと認識しています。木更津にそんなすごいい場所がいっぱいあるのかと思いました。その辺り、教えていただきたいと思います。

○内田委員長

このことについて事務局お願いします。

○事務局(榎本課長補佐)

曾我井委員のおっしゃる通り、木更津市の方で、企業誘致できる土地が少なくなっているというところは事実です。ただ、空きも実際ありますが、すべて市の所有ではないというところで、民間の所有者と連携を図りながら、土地の紹介をさせていただいているところです。今大きく空いているところだとアカデミアパークで2区画、それと金田の方で1区画がそれぞれ、5ヘクタールから8ヘクタールぐらいのサイズのものがございます。それで奨励金があっても、呼び寄せる土地がなければ、機能しないというご指摘もいただいている中で、昨年度、木更津北インター周辺の開発を、民間に公募するというようなものを行いました。プレエントリーが1社あったものの、実際のエントリーに至らなかった案件がございます。そこで今年度改めて、今条件を検討中ですが、専門委員会を開きまして、再度公募していきたいと考えております。そちらの公募があって民間から手挙げていただければ、条件としては5ヘクタール以上という形で公募をかけますので、それよりも大きな、用地が確保できるのかなと期待しているところでございます。北インターが終わりましたら今度、他のインターチェンジについても可能性があるところから順次、公募をかけていきたいと考えております。すべて調整区域になっておりますので、都市計画部局とも連携しながら、そこは立地が叶うような形に整えたいと考えております。以上です。

○内田委員長

曾我井委員いかがでしょうか。

○曾我井委員

今のお話に伴ってもう1つなんですけども、例えば、インターの周辺は、確か半径300メートル以内は、市街化調整区域の網にもかからず、何かしら事業できるような特例事項があったと思います。例えば、今言った木更津東インターの降り口から半径、例えば500メートルとか1キロの範囲で、将来的に経済特区、特区地って言うんですかね、事業する方はウェルカムで事業ができるようなそういう緩和策をお考えになっているのか。もしくは先ほど言ったように、農振地域で、今農業もどんどんどんどん衰退してて、休耕地がいっぱい

あるような中で、そういうものを換地してまとめて、こっちのエリアは準工業地域にしましょうとか、そういうような政策みたいなことを、市の方でお考えになってますか。計画ありますでしょうか。

○内田委員長

事務局お願いします。

○事務局(榎本課長補佐)

おっしゃる通り半径 500 メートル以内であれば、地区計画というのを立案する制度を用いて、立地が可能というものが、木更津市の方で用意がございます。ただしこれですと、ある程度のサイズ感までしかできないと県の方からも言われておりまして、例えば 5 ヘクタール程度であれば、地区計画を設定することによって、調整区域内でも、立地が可能になるように、一応整備はできるものになります。ただし農振農用地については、なかなか農業部局との規制の関係で、思うようにいかないのも、もし農振農用地をとということであれば、委員のおっしゃる通り、区画整理と合わせて、というような手続きをする方法が現実的かなと思うところではあります。ただ、農水省の方が、農振農用地についてはちょっと今年度から厳しくしていくというような方針もある中で、なかなかこころ辺は、思うように産業側の理屈だけでは通らないところかなと思いますので、そこら辺の整合をとって市全体として、また県全体として考えていくような話になってきますので、調整を図りながら、産業用地の確保については努めていきたいと考えております。以上です。

○内田委員長

曾我井委員いかがですか。

○曾我井委員

ありがとうございます。

○内田委員長

それでは関連して、國吉委員お願いします。

○國吉委員

市内からバイパスを通ってかつ波奈がある右側の方の、ホームセンターができるような構想が 10 年前からあったと思います。その進展はどうなってますか、知ってますか。

○事務局(榎本課長補佐)

コメリですね。協議の方は続いているものと承知をしているんですが、そこから先の都市計画上の手続きについてはスタートしていません。もしそこが進むのであれば、工事なり、

地元説明会などが開催されることになるんですけども、現時点ではこれ以上のことは申し上げられないという形になります。以上です。

○國吉委員

計画の青写真はしっかりできてるんだけども、それから進まないからどうなってるかなと思ひまして、残念だと思う。バイパス沿いで平らなところってあまりないんですね木更津は、君津みたいに。そこはちょっと残念です。以上です。

○内田委員長

よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。事務局どうぞ。

○事務局(島村係長)

1点、先ほど石田委員からご質問あった件で、訂正させていただきたいことがありまして、13 ページの観光デジタルガイドマップ木更津お出かけナビの関係ですが、こちらはグーグルマップの方と連携している仕組みになっておりますので、自転車でのルート検索もできるような形になっておりますので、訂正をさせていただければと思います。

○石田委員

道路というのは安全に通行できる道路でしょうか。

○内田委員長

事務局お願いします。

○事務局(大岩部長)

グーグルマップですので、その目的地に最短距離で行く道で、当然細いところはなかなかというところですけども、最短で行く道を選んでもらえる中で、自転車の方にも気をつけながら、そこに行ってもらふようなところになってると思います。

○石田委員

そこを安全に通れるようなところをチェックしていただいて、県外から来た人がまた来たいと思われるような形になれば、とてもいいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○内田委員長

ありがとうございます。石出委員いかがでしょうか。

○石出委員

今までお話聞いてて私も勉強させていただいていますが非常に 25 項目で、よくプランされた各内容だと思います。これから 5 カ年計画の中で、いろいろPDCAやっていかれると思いますが、その中で考え方といいますか、木更津市を良くしようという思いで、各項目

立てられてると思いますので、数値も大事ですが、進めて行っていただければと思います。
私たちもサポート、いろんな面でしたいと思います。

○内田委員長

ありがとうございます。櫻井委員いかがでしょうか。

○櫻井委員

26 ページのキャリア教育の推進ですが、若い人たちが木更津から出て行ってしまうということが多いので、木更津の中で仕事をして、この土地に残れるように繋がっていくのを望んでいます。

○内田委員長

ありがとうございます。ぜひ、こちらの施策を推進していただきたいというご意見ですね。他に何かございますでしょうか。言いたいことがあればどんどん言っていただければと思います。後で承認を皆さん方がしますので、いくつかご意見いただいた中で、少し修正箇所等もあると思いますので、後で採決を取らせていただきますが、修正箇所を各委員にまたお伝えするという付帯条件をつけたいと思いますので、その旨は、お願いしたいと思います。

1点だけ、25 ページ目、外国人材の経営支援というところですが、この中でベトナム市社会主義共和国のダナン市の大学と人材交流に関する覚書を締結とのことで、ダナン市を中心にしていますが、ダナン市以外の大学等も締結する予定なので、等の文言を入れていただければと思います。

あといかがでしょうか。よろしいでしょうか。皆様方のご意見が出尽くしたと思います。それでは、このアクションプランにつきまして先ほど申し上げましたように、いくつかの点について修正箇所が出てくるというところでございますので、その修正箇所につきましてはメール等で各委員に通知するという付帯条件にいたしまして、ここで採決を取らせていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございます。それではこのアクションプランについて、ご承認いただける方挙手をお願いしたいと思います。

(全員挙手)

ありがとうございます。全会一致ということでございます。事務局の方、ぜひよろしくお願いしたいと思います。それでは、こちらの議案について終了させていただきます。議事の

進行にご協力いただきましてありがとうございました。それでは進行の方を事務局にお渡ししたいと思いますよろしくお願いいたします

○事務局(機部課長)

内田委員長 議事進行ありがとうございました。今後は、計画が予定どおり進んでいるかの進行管理を毎年1回、5月下旬頃に当委員会を開催し、前年度の結果の検証、新年度の計画等をご説明させていただきます。改めてご案内申し上げますのでよろしくお願いいたします。以上をもちまして、令和6年度第1回木更津市商工業振興計画推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和6年6月6日

木更津市商工業振興計画推進委員会委員長 内田 慎一郎